

市政を問う!

一般質問は、市の行財政全般にわたって、執行機関に疑問点をただし、見解を求めるものです。12月定例会の一般質問は、3日(水)から5日(金)の3日間に13名の議員が質問しました。
(ここでは紙面の関係で、その一部を要約して掲載しています。)



個人質問

市表彰制度の見直しを求める

..... 桜田

秀雄



市表彰制度について

問 一般表彰と職員表彰は分離し、協働社会に光を当てた制度の充実を図るべきではないか。また、区長の基準を連続5年から通算5年と改めては如何か。

市長 分離する必要はないと考えています。今までも少年野球やサッカー等の指導者や清掃活動・奉仕活動など、多くのボランティア団体や個人を表彰しています。区長の規程については、検討します。

は、駅南側の無料駐車場の利用をお願いしています。

人に優しい道づくりについて

問 八街バイパスの進捗状況は如何か。

市長 街路事業については、用地買収率は100パーセントとなり、大木側JR橋梁部の擁壁工事を進めており、平成22年度の完成を予定しています。また、道路事業については、平成20年10月末現在で67・7パーセントの用地買収率と聞いています。

問 第一自転車駐輪場の稼働率向上の取り組みを伺う。また、八街駅北側に無料自転車駐輪場の設置を求めるが如何か。

市長 稼働率向上の取り組みとして、ラックの登録番号指定の廃止、上段利用者の料金体系の見直しなどの対策を講じています。無料の駐輪場を新たに設置することは考えていません。一時的に駐車したい駅利用者

問 事業計画によると、市道08003号線とバイパス接道部が通行止めとなっている。明治以来の生活道路で地域住民の生活権が奪われることになる。「せめて左折だけでも認めてほしい」との声が強いが、対策を伺う。また、対象住民に対する事業の説明会を開催する考えはないか伺う。

市長 接道部はT字路交差点内となり、交通安全上危

険であるため、車両通行止めとなります。対策としてバイパス橋梁部の側道を代替としています。説明会は、県と連携を図りながら必要に応じて開催していきま

問 代替側道から先の既存道路は道幅が約半分となり、車の交差が困難になる。拡幅が必要ではないか。

建設部長 待避所等で検討したいと考えています。

問 本市は狭い市道が多い。少ない投資で利用者の利便性向上を図る上で待避所は有効な手段である。市道28021号線は道幅が狭く、車両の交差に苦慮している。待避所を設置する考えはないか。

市長 現状を見る限り待避所の設置は必要ないと考えています。なお、待避所を設置するには、用地の確保が必要であり、市道の隣接する土地所有者や地元区のご理解・ご協力がなければ、設置は難しいと考えています。